

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	長野県
取組市町村名 取組団体・企業名	長野市教育委員会
取組の名称	インスタグラム 公式アカウント「長野市の学校給食」を活用した情報発信
実施時期	通年
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
取組内容	【目的】 長野市の学校給食の魅力を幅広く発信し、保護者のみならず、広く市民の皆さんに学校給食への理解を深めていただくことを目的としています。 【発信内容】 ・献立の紹介 ・食育の取組み ・調理職員・栄養士しか見ることができない調理現場の様子 ・給食に関するイベント など  インスタグラム【公式】長野市の学校給食 https://www.instagram.com/naganoshi_gakkoukyushoku/ 長野市の学校給食 

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	長野県
取組市町村名 取組団体・企業名	飯田市
取組の名称	Instagram を活用した市民参加型の取組（野菜キャンペーン）
実施時期	令和 6 年 8 月 1 日～ 8 月 31 日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	 
取組内容	【目的】 令和 5 年度食生活状況調査の結果から、飯田市民の野菜摂取量は前年度までと比べて大きな増減はなく、国の目標量（350 g）にあと一皿分（70 g）足りていない状況にあります。また、第 4 次飯田市食育推進計画では、基本目標 1 の数値目標に「1 日当たりの野菜摂取量の増加」があり、国の目標量である 1 日 350 g を掲げています。 市民が主体的に取り組み、野菜摂取量の増加につなげる取組として、SNS（Instagram）を活用した「食育キャンペーン」を行います。また、投稿していただいた方の中から抽選でおいしいプレゼントを進呈します。 【対象者】飯田市民、もしくはプレゼントを飯田市保健センターまで取りに来られる方 【応募方法】 ①飯田市公式 Instagram をフォローします。 ②8 月 1 日～31 日に食べた「野菜料理」の写真を撮ります。 ③ハッシュタグ「#ベジクックいいだ 2024」をつけ、投稿写真に「iidashi_syokuiku」のアカウントをタグ付けし投稿します。 【応募者数と投稿数】応募者数 19 名、投稿数 71 件 【当選者数】3 名 【当選ポイント】①見た目、②栄養バランス、③手軽さ、④季節感、⑤アイデア

【当選者3名の写真と賞名】



「肉とのコラボでスタミナのつくで賞」

手作りナスの肉巻きからはジュワッとした食感が想像できます。バクバク食べられそうですね！



「夏野菜で溢れているで賞」

ボウルに入ったミニトマトの量に驚きました。まさに夏を感じられる一枚です！



「アイデアも卵も満杯で賞」

パプリカの切り取った頭の部分も無駄なくおしゃれに飾られていて彩り鮮やかです！

【Instagram】

https://www.instagram.com/iidashi_syokuiku/?next=%2F



【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	長野県
取組市町村名 取組団体・企業名	飯田市
取組の名称	Instagram を活用した市民参加型の取組（朝食キャンペーン）
実施時期	令和 6 年 4 月 1 日～ 5 月 12 日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	  
取組内容	【目的】 飯田市では若者世代を対象とした朝食アンケートを毎年行っていますが、20～30 歳代の朝食欠食率が最も高く、約 3 割とここ数年横ばいで推移しています。 （令和 4 年度欠食率結果：男性（消防団） 35. 2%、男性（子育て中） 34. 7%、女性（子育て中） 27. 7%） 市民（特に若者世代）が主体的に取り組み、朝食摂取につなげる取組として、SNS（Instagram）を活用した「食育キャンペーン」を行います。また、投稿していただいた方の中から抽選でおいしいプレゼントを進呈します。 【対象者】飯田市民、もしくはプレゼントを飯田市保健センターまで取りに来られる方 【応募方法】 ①飯田市公式 Instagram をフォローします。 ②4 月 1 日～ 5 月 12 日に食べた「朝食」の写真を撮ります。 ③ハッシュタグ「#やっぱ朝食大事だに」をつけ、投稿写真に「iidashi_syokuiku」のアカウントをタグ付けし投稿します。 【応募者数と投稿数】応募者数 9 名、投稿数 48 件 【当選者数】3 名 【当選ポイント】 ①見た目、②栄養バランス、③手軽さ、④地物を使用・季節感、⑤アイデア

【当選者 3 名の写真と賞名】



「おにぎりがかわいいで賞」

朝からこんなにかわいいおにぎりを食べたら元気に過ごせそうです！



「笑顔になれる朝食で賞」

ハッシュドポテトのニコニコがチャームポイントに野菜を挟んでいるのも良いですね。



「季節感あふれる朝食で賞」

旬の食材をふんだんに取り入れていて、食欲がわいてきますね！

【Instagram】

https://www.instagram.com/iidashi_syokuiku/?next=%2F



【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	長野県
取組市町村名 取組団体・企業名	上田市健康こども未来部健康推進課、アリオ上田
取組の名称	食育イベント 夏休み 親子で 家族で健康づくり in アリオ上田
実施時期	令和6年7月26日（金）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
取組内容	【目的】 若い世代への啓発事業として、夏休みに、親子で楽しく学び、体験することで、健康への関心や意識を高めると同時に、健康づくりの実践者を増やすことを目的とします。また、セブン&アイ・ホールディングスとの地域活性化包括連携協定に基づく官民連携による協働事業として実施し、今年で6回目の事業になります。 【対象者・参加者】 夏休みの小中学生を中心とした全世代・313人 【内容】 信州おもてなし武将隊も参加し、上田市で啓発している「あたま・からだ元気体操」や、子どもも楽しく参加できる野菜の〇×クイズを実施しました。参加者には、地元農産物のとうもろこし等の景品を配布しました。 ●食育啓発コーナー 令和4年度に実施した上田市のアンケート結果から、1日の中で野菜を食べる回数が3回の人約30%で、残りの約70%の人が野菜の摂取量が少ないことが予測される状況です。そのため、子どもの頃から野菜を1日3回食べる習慣を身に付けられるよう、野菜の働きや野菜をおいしく食べるポイント等の啓発や、1日に必要な食事量の実物展示をしました。 また、環境政策課からフードロス、保育課から保育園での給食や菜園活動の様子、農業政策課から地元農産物、学校保健給食課から小・中学校の給食についての掲示物を提供していただき、上田市食育推進プロジェクトに取り組んでいる課と連携して庁内部局横断的に実施・啓発しました。 その他にも、ベジチェックや1日分の野菜を量ってみるブースを設け、野菜の1日に必要な量等を見るだけでなく体感してもらえるようにしました。

